

高円宮典子さま婚約

出雲大社・千家国麿さんと

今秋、大社で結婚式

高円宮家の次女典子さま(25)と出雲大社の宮司、千家尊祐さん(71)の長男で同大社禰宜の国麿さん(40)の婚約が27日、内定した。結婚式は今秋、出雲大社で行



出雲大社の本殿遷座奉幣祭で参進する千家国麿禰宜—2013年5月11日、出雲市大社町杵築東



出雲大社の本殿遷座祭に参列された高円宮典子さま—2013年5月10日、出雲市大社町杵築東



発行所
山陰中央新報社
松江市殿町383
郵便番号 690-8668
電話 総合案内 0852(32)3440
©山陰中央新報社2014



山陰中央新報の購読お申し込みは
0120-49-2550
受付時間 9:30-17:30 日曜、祝日除く

高円宮典子さま

千家国麿さん

高円宮ご夫妻の次女として88年7月22日誕生。松濤幼稚園、学習院初等科、同女子中等科、同女子高等科を経て07年4月、学習院大文学部心理学科入学。11年3月卒業後は、母久子さまとともに成年皇族として宮中晩さん会や園遊会、世界らん展日本大賞などに出席。お印は「蘭」。姉承子さま、妹絢子さまとの3姉妹。父母と弟2人の5人家族。

成年皇族として公務にも携わることになるため、ゆっくりと話を進めてきたという。昨年5月、出雲大社が60年ぶりに本殿を修復し、ご神体を戻した「本殿遷座祭」では典子さまも拝礼した。今後は結納に当たる「納采の儀」など結婚に向けた儀式や手続きが予定されている。

家族ぐるみで交際

高円宮家の次女典子さまと出雲大社禰宜の千家国麿さんの婚約内定の背景には、長年にわたる両家の家族ぐるみでの交際があった。出雲大社から鎌倉時代の「心御柱」が出土した翌年の2001年9月、高円宮ご夫妻と典子さま、三女絢子さまが心御柱を見に大社を参詣された。大社によると、その時、高円宮は柱の模型の前に娘たちを並べて写真を撮り、国麿さんの父、尊祐宮司らとも親しく懇談したという。

翌年11月、高円宮が急逝。夫との思い出を胸に、出雲大社との交流を深めた久子

千家家は代々、出雲大社の祭祀を担っている。両家は高円宮が02年に急逝する前から、家族ぐるみで交際していた。

宮内庁によると、典子さまは07年4月、母の久子さまと出雲大社を参拝した際、初めて千家さんと会った。その後、結婚の話が持ち上がったが、典子さまは当時、学習院大在学中で、

この日午前、高円宮妃久子さまと典子さまが皇居・御所を訪ね両陛下に報告。これを受けて宮内庁の西ヶ広渉宮務主管が発表した。2人は午後、記者会見する予定。

われる。皇室典範の規定で、典子さまは結婚に伴い皇族の身分を離れられる。皇族の結婚は天皇、皇后両陛下の長女黒田清子さんの2005年以来。

一方、野鳥観察をライフワークとする久子さまの「鳥の写真展」を、出雲大社文化事業団が主催したことも。収益金は「自然保護に役立ててほしい」と、国麿さんが代表して島根県庁に出向き「しまね社会貢献基金」に寄付した。

根付けやチェロなど高円宮の愛用品を展示して、12年に東京都内で開いた逝去10年の記念展の実行委員長を務めたのも、尊祐さんだった。